

令和3年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	神崎市立千代田東部小学校 児童数 101人	担当者名	宇都宮順子 福島美佐子
住所	郵便番号 842-0121 神崎市千代田町渡瀬 1964-1	電話番号	0952-44-2211

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	いろいろな本を読んでお気に入りの1冊とであおう
	取組期間	令和3年4月1日～令和3年11月30日

※令和3年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和3年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	101人	実施日数	145日	読書冊数	20657冊	連携した団体数	2団体
	取組内容(概要)	<p>①今年目標を確認しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○読書集会 <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の取組を宣言し、目標を確認する。 ・読書ボランティア「フラワーケムケムさん」の紹介 ②図書館へ行こう～図書館って楽しいよ～ <ul style="list-style-type: none"> ○図書館を楽しむ取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ図書館まつり(一日図書委員・クイズ・ぬり絵コンクール・参加型掲示物) ・図書館祭り(・読み語りボランティアとのパネルシアター・手作りしおりコンクール・ファミリー読書・読書郵便抽選会・一日図書委員・図書委員による読み聞かせ) ③いろいろな本を手にとろう～ようこそ、新しい本の世界に～ <ul style="list-style-type: none"> ○読書の幅を広げる取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・当たりくじつき読書郵便・本の展示・50選読み直し・長編にチャレンジ ④じっくり読もう、じっくり聞こう <ul style="list-style-type: none"> ・毎週金曜日読書タイム(読み語りタイム&自読タイム) 						
工夫したこと	<p>①今年目標を確認しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の目標達成に向けて、「50選を読む」「図書館おすすめの本を3冊以上読む」「長編を3冊以上読む」「50選の読み直しをする」ことにし、読書の記録に達成状況を記録する欄を設け、1年間の目標を意識できるようにした。 ②図書館へ行こう～図書館って楽しいよ～ <ul style="list-style-type: none"> ・毎年児童に好評なイベントは継続し、今年は、ボランティア「フラワーケムケムさん」とパネルシアターに取り組んだ。朗読の仕方やパネルの動かし方を指導してもらうことで、児童のやる気や技術が向上し充実した時間となった。また、見に来た児童も話に引き込まれている様子が見られた。図書委員も来年への意欲をみせている。 ③いろいろな本を手にとろう～ようこそ、新しい本の世界に～では、当たりくじ付き読書郵便に取り組んだ。去年はコロナで中止したが、一昨年の取り組みに「当たりくじ」をつけて新たに取り組んだ。自分では、手に取らないような本との出会いにする 							

	<p>ために、以下の事を工夫した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと本を選べるように、紹介する本を選ぶための準備期間を設けた。 ・相手意識をもたせるために、事前に誰に紹介するのかを知らせた。 ・読むことを重視して、9類や絵本を中心に読み物を紹介するという条件を設けた ・金曜日の朝の読書タイムを利用して、紹介された本を読む時間を確保した ・紹介した葉書や読んだ感想を伝えた葉書で良かったものは、図書室に掲示した ・当たりくじを付けて、楽しく取り組めるようにした。また、読書タイムの時間に全校お楽しみ抽選会をリモート中継した。 ・同じく③の取組、「長編にチャレンジ」では、中学校の図書館にある本の中から、司書の先生の「おすすめの本20冊」を借りて紹介した。 <p>④じっくり読もう、じっくり聞こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み語りボランティアさんの活動は継続しつつ、今年度から自分で読む楽しさを味わうことを目的に、朝の読書タイムを2週に1度、自分で読書する時間とした。また、その時間の後半には、学年を変えながら2人ずつに、お気に入りの本の発表をリモートで行った。顔が見えること、紹介する本が見えることで、毎回発表を楽しみにしている児童も多い。また、紹介された本をすぐに借りる様子も見られた。
<p>取り組んだ感想</p>	<p>図書館に行くこと、本を借りることは大好きで、たくさんの児童が毎日図書館へ通い、本をたくさん借りている。しかし、「借りるだけで、読んでない」「活字が少ない本がよく借りられている」「読書の幅が広がらない」という実態や「読む力をつけたい」という教師の声を受けて、今年度の目標を設定した。読書の記録を使って、目標と達成状況が見える化したことで、目標を意識しながら取り組もうとする様子が見られた。ただ、取組期間が1年間と長いため、記録することを忘れてしまう児童も見られたので、来年度は、目標ごとに取組期間を設けていきたいと考えている。また、こちらから、様々な働きかけをすることで、色々な本を手取る姿が見られるようになってきた。特に読書郵便は、縦割り班（異学年）の友だちに紹介された本をきっかけに、思い出の本と再会した児童、シリーズで読んでみたいと思った児童、こんな本があったのか、と図書館にある本を再発見した児童など様々な姿が見られた。読書の幅を広げるには、効果的であったと考えている。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>○千代田東部小オリジナルパネルシアター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組で、図書委員のパネルシアターへの意欲が高まっているので、読書ボランティアさんと連携して、本校出身である下村湖人先生の次郎物語のパネルシアター作りに取り組む。 <p>○能動的な読書郵便</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉書を書いて紹介することへの意欲が高まったと思われるので、今年度は、葉書の枚数や送る相手を限定していたが、来年度は、ある程度自由に葉書を出せるようにすること、紹介された本を自分で探すことにも挑戦させていきたいと思う。 <p>○読書の個人目標の充実～読み方の広がりをめざして～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学期に「図書館からの挑戦状」～こんな読み方に挑戦～と題して、作者読み、シリーズ読み、ジャンル読み、長編読みなど図書館から色々な読み方を提案し、挑戦させる。その読み方を来年度の読書の個人目標を設定する際の参考にさせる。 <p>○今年度の取組を活かすために、読書の記録を集計し、目標達成状況や取り組んだ感想、児童が出会ったお気に入りの本を来年度の読書集会で紹介する。</p>

①読書集会～今年度の目標を確認しよう～の取組



5月 ZOOM による読書集会の様子。図書室で撮影した映像を、リアルタイムで各教室に配信。全校児童は、電子黒板で今年度の目標を確認しました

1年間お世話になる読み語りボランティアの「フラワーケムケムさん」の紹介も行いました。



児童が持っている読書の記録です。6年分を保管して卒業時にプレゼントします。

左ページには、必読図書が50冊あります。読んだらシールを貼ります。今回は、読み直した本には、金シールをはることにしました。右ページは今年の目標への取組を記録します。年間を通して、目標を意識して取り組めるように工夫しました

②図書館へ行こう～図書館って楽しいよ～の取組 ミニ図書館祭り&秋の図書館祭り

・パネルシアター

・参加型掲示物

・分類クイズ

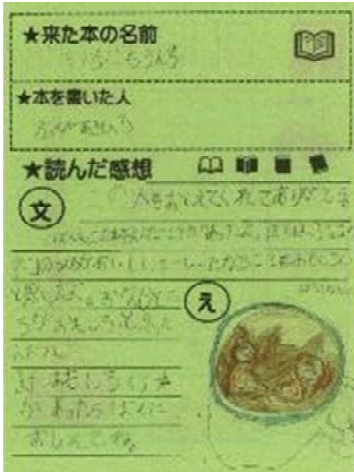


フラワーケムケムさんとコラボしてのパネルシアターです。「月へのぼったうさぎ」を披露しました。

「本の雨を降らせよう」では、50選の中の自分のおすすめしたい本を書いて、掲示しました。

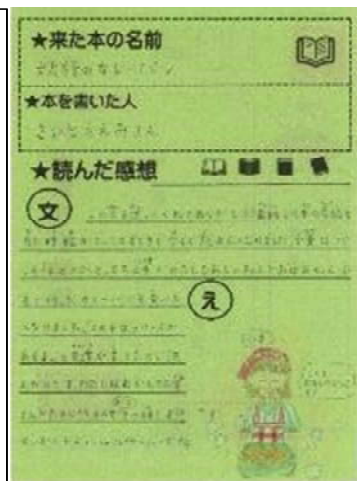
いろいろな本を手取るよう、各分類の本からクイズを出しました。本を探してクイズに答えます。

児童が書いた葉書(本を読んだ返事)



(左) 4年生の葉書です。2年生が紹介してくれた本の感想です。「同じところがおもしろいと思ったんだね。またおもしろい本があったらばくにおしてね。」と、互いの感想を共有しています。

(右) 4年生の葉書です。「この本を送ってくれてありがとう。この本は、シリーズがあるよと友達が言っていたので読みたいです。」と返しています。読書の広がりにつながっています。心温まる交流が他にもたくさんありました。



・読書郵便お楽しみ抽選会

抽選の様子



当選番号



賞品も準備



教室の様子



賞品渡し



図書室での抽選の様子を全校にリモート中継しました。箱に番号を書いたボールをいれ、抽選をしました。3等3本(60人)、2等5本(10人)、1等1本(2人)です。賞品も準備しました。教室は、番号が発表されるたびに歓声があがっていました。1等だけは、抽選発表後、図書室に来てもらい、校長先生から賞品を渡していただきました。その様子も中継しましたので、各教室からは、あたたかい拍手がきこえてきました。わくわく、ドキドキのお楽しみ抽選会となりました。

・おすすめの本コーナーの設置



中学校の図書館から借りた本



「中学校の先生おすすめの本」というところが児童の興味を引いたようです。

毎年行っている本の展示紹介です。季節や学校行事、世の中の動きに合わせて読んでほしい本を置いています。毎年行っていますが、今年は、この中から3冊は、借りて読もうという目標を立てました。読書の記録にも読んだ本の題名を記入します。また、高学年向けに、中学校の図書館から借りた本も置いてみました。「中学生が読む本に挑戦してみたい」という児童もあり、4, 5, 6年生を中心に読まれていました。来年中学生になる6年生にも良い刺激になったようです。

④じっくり読もう、じっくり聞こう

・自読タイム&おすすめの本リモート中継

今年度からは、第2, 第4金曜日の朝の時間は、自分で本を読む自読タイムを行っています。その時間の最後には、各学年交代で、自分のおすすめの本を二人ずつ紹介する時間をとっています。リモートで中継するので、子ども達は熱心に聞いています。



教室では、電子黒板に写る友だちの発表を、毎回楽しみにしています

カメラの前で本を手を持って紹介します。おすすめポイントと読みたくなるような紹介の仕方を工夫します。相手を意識して話すという良い経験にもなっています。